

平成30年度とちぎっ子学習状況調査 壬生町全体の調査結果

1 目的

本調査の実施により本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

2 調査実施日 平成30年4月17日(火) 全国学力・学習状況調査と同日

3 調査の対象

- (1) 県内の公立学校に在籍する以下の学年の全児童生徒を対象とする。
 - ア 小学校調査
小学校第4・5学年、義務教育学校前期課程第4・5学年、特別支援学校小学部第4・5学年
 - イ 中学校調査
中学校第2学年、義務教育学校後期課程第2学年、県立中学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年
- (2) 特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。
 - ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
 - イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

4 調査事項

- (1) 児童生徒に対する調査
 - ア 教科に関する調査
 - (ア) 小学校調査は、国語・算数・理科の3教科、中学校調査は、国語・社会・数学・理科・英語の5教科とする。
 - (イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までの学習内容とする。
 - (ウ) 出題内容は、学習指導要領に基づき、教科の目標及び内容に即した基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等に関わる内容とする。
 - イ 質問紙調査
調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、家庭学習等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という）を実施する。
- (2) 学校に対する調査
学校における指導に関する取組や学習環境等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という）を実施する。

5 学年・教科ごとの調査実施児童生徒数（壬生町）

	国 語	算 数	理 科	社 会	英 語
小学校4年生	329人	329人	329人		
小学校5年生	333人	333人	333人		
中学校2年生	344人	343人	342人	343人	341人

6 本調査の実施に関する壬生町教育委員会の考え方

- (1) 本調査は、各学校が児童生徒の学力・学習状況を的確に把握し、指導方法の工夫改善に役立てるために積極的に活用を行う。
- (2) 本調査は学校間、児童生徒個人の序列化や比較を行うものではない。
- (3) 壬生町教育委員会は、栃木県教育委員会の方針にしたがい、本町及び全小中学校の数値データを一括公表することは行わない。

7 とちぎっ子学習状況調査 壬生町全体の調査結果の概要

○小学校4年生の状況

【小学校4年国語】

《教科総合》…県平均より高い値である。

「基礎」…県平均より高い値である。

「活用」…県平均よりやや高い値である。

《領域別・内容別》

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全領域で県平均を上回った。中でも「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は県平均より高い値である。

《出題形式別》

- 「選択式」の問題は全て県平均を上回っている。
 ●「短答式」（漢字）問題の半数について、県平均を下回まっている。

【小学校4年算数】

《教科総合》…県平均より高い値である。

「基礎」…県平均より高い値である。

「活用」…県平均より高い値である。

《領域・内容別》

- 「数と計算」「量と測定」「数量関係」の領域で県平均より高い値である。

《出題形式別》

- 「短答式」の問題の多くは県平均より高い値である。
 ●「選択式」の問題でいくつか県平均よりやや低い値がある。

【小学校4年理科】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均とほぼ同じ値である。

《領域・内容別》

- 「生命・地球」の領域で県平均を上回っている。
- ・「物質・エネルギー」の領域は県平均とほぼ同じ値である。

《出題形式別》

- 「選択式」問題の一部で県平均より低い値がある。

【小学校4年意識に関する調査】

《学びの基礎力》

- 「豊かな基礎体験」「学びに向かう力」については県平均よりやや高い値である。
- 特に「学校の宿題はやりたくなる内容だ」の肯定回答割合が県平均よりも高い値である。
- 「自ら学ぶ力」「学びを律する力」については県平均よりやや低い値である。
- 特に「疑問や不思議に思うことは分かるまで調べたい（探究心）」の質問の肯定回答割合が県平均よりも低い値である。

《社会的実践力》

- 全体として、県平均よりやや高い値である。

《学級力》

- ・全体として、県平均とほぼ同じ値である。

《家庭学習力》

- 全体として、県平均より低い値である。
- 特に「家で、学校の授業の予習・復習をしている」「家で、テストで間違えた問題について勉強している」「家で、学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」の質問の肯定回答割合が県平均よりも低い値である。

《その他》

- ・携帯電話・スマートフォンの所持率は、県平均とほぼ同じ値である。

○小学校5年生の状況

【小学校5年国語】

《教科総合》…県平均より高い値である。

「基礎」…県平均より高い値である。

「活用」…県平均より高い値である。

《領域別・内容別》

- 「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で県平均より高い値である。

《出題形式別》

- 「選択式」「短答式」に4問ほど県平均より高い値がある。
- 「選択式」の1問が県平均より低い値である。「短答式（漢字の読み）」の問題について、県平均よりも低い値の問題がある。

【小学校5年算数】

《教科総合》…県平均より高い値である。

「基礎」…県平均より高い値である。

「活用」…県平均とほぼ同じ値である。

《領域・内容別》

○「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の全領域で県平均より高い値である。

○特に「図形」の領域は県平均よりかなり高い値である。

●ただし、複合図形の面積を求める問題で県平均より低い値であった。

《出題形式別》

○「短答式」「記述式」のいくつかで、県平均よりかなり高い値の問題があった。

【小学校5年理科】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均より高い値である。

《領域・内容別》

○「物質・エネルギー」「生命・地球」の両領域で県平均よりやや高い値である。

●「季節と生物」の内容で県平均より低い値である。

《出題形式別》

○「記述式」の問題はすべて県平均を上回っている。

【小学校5年意識に関する調査】

《学びの基礎力》

○全体として、県平均よりやや高い値である。

●「自ら学ぶ力」は県平均よりやや低い値である。特に「授業で自分の考えを文章にまとめて書くことは難しい」との問いに県平均より低い値である。

《社会的実践力》

○全体として、県平均よりやや高い値である。

○特に「地域や社会で起こっている問題やできごとに関心がある」の質問の肯定回答割合は県平均より高い値である。

《学級力》

○全体として、県平均よりやや高い値である。

○特に「クラスは発言しやすい雰囲気である」「授業で扱うノートには学習の目標とまとめを書いている」の質問の肯定回答割合が県平均よりも高い値である。

《家庭学習力》

●全体として、県平均とほぼ同じ値である。

●特に「家で、学校の授業の予習をしている」「家で、学校の授業の復習をしている」「家で、テストで間違えた問題について勉強をしている」「家で、学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」の質問の肯定回答割合が県平均を下回っている。

《その他》

○携帯電話・スマートフォンの所持率は、県平均より低い値である。

○中学校 2 年生の状況

【中学校 2 年国語】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均よりやや高い値である。

《領域別・内容別》

・「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域は県平均とほぼ同じ値である。

○「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は県平均よりやや高い値である。

《出題形式別》

○「短答式」のいくつかで、県平均よりもかなり高い値の問題がある。

●どの形式でもいくつかで、県平均よりも低い値の問題がある。

【中学校 2 年社会】

《教科総合》…県平均よりやや低い値である。

「基礎」…県平均よりやや低い値である。

「活用」…県平均より低い値である。

《領域別・内容別》

●「歴史」の領域は県平均よりも低い値である。

●「地理」の領域は県平均よりやや低い値である。

《出題形式別》

●「選択式」「短答式」のいくつかで、県平均よりもかなり低い値の問題がある。

【中学校 2 年数学】

《教科総合》…県平均とほぼ同じ値である。

「基礎」…県平均よりやや低い値である。

「活用」…県平均とほぼ同じ値である。

《領域・内容別》

・「数と式」「図形」「関数」の領域は県平均とほぼ同じ値である。

●「資料の活用」の領域は県平均より低い値である。

《出題形式別》

●「短答式」「記述式」の問題で、いくつか県平均より低い値の問題がある。

【中学校 2 年理科】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均よりやや高い値である。

《領域・内容別》

○「身近な物理現象」の領域は県平均より高い値である。特に「力と圧力」の内容は県平均を大きく上回っている。

○「身の回りの物質」「植物の生活と種類」の領域は県平均とほぼ同じ値である。

- 「大地の成り立ちと変化」の領域は県平均よりやや低い値である。

《出題形式別》

- ・「短答式」「選択式」の問題で、それぞれに県平均よりも高い値と低い値がいくつか見られる。

【中学校2年英語】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均よりやや低い値である。

《領域別・内容別》

- ・「聞くこと」の領域は県平均とほぼ同じ値である。
- 「書くこと」の領域は県平均よりやや高い値である。
- 「読むこと」の領域は県平均よりやや低い値である。

《出題形式別》

- 「選択式」「記述式」の問題で県平均を大きく上回る問題がいくつかある。
- 「選択式」の問題で県平均より低い値がいくつかある。

【中学校2年意識に関する調査】

《学びの基礎力》

- 全体として、県平均よりやや低い値である。
- 特に「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」「難しい問題にであうと、よりやる気がでる」「先生は学習のことについてほめてくれる」「自分の行動や発言に自信をもっている」「本やインターネットなどを利用して、勉強に関する情報を得ている」の質問の肯定回答割合が県平均よりも低い値である。

《社会的実践力》

- 全体として、県平均よりやや低い値である。
- 特に「授業で自分の考えを文章にまとめて書くことは難しい（問題解決力）」「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である」の質問の肯定回答割合が県平均よりも低い値である。

《学級力》

- 全体として、県平均よりやや高い値である。
- 「授業では、クラスの友達との間で話し合う活動をよく行っている」「授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いている」の質問の肯定回答割合が県平均より高い値である。

《家庭学習力》

- 全体として、県平均よりやや低い値である。
- 「家で、学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」の質問の肯定回答割合が県平均より高い値である。
- 特に「家で、自分で計画を立てて勉強している」「家で、学校の授業の予習をしている」「家で、学校の授業の復習をしている」「家で勉強するときに、だいたい同じ時刻に取り組むようにしている」の質問の肯定回答割合が県平均より低い値である。

《その他》

- 携帯電話・スマートフォンの所持率は、県平均より低い値である。